

2024年版 環境経営レポート



発行年月日 2025 年 2 月 20 日

株式会社 レボテック・クリーン



目 次

1. 組織の概要
2. 対象範囲（認証・登録範囲）、レポートの対象期間及び発行日
3. 環境経営方針
4. 環境管理組織体制
5. 環境経営活動への取組の全体概要
6. 環境経営目標
7. 環境経営活動計画
8. 環境経営目標の実績
9. 環境経営活動計画の取組結果とその評価
10. 次年度の取組内容
 - (1) 環境経営目標
 - (2) 環境経営活動計画
11. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無
12. その他の取組

発行日： 2025 年 2月 20日
発行責任者：環境管理責任者 上田 由美

次回発行予定： 2026 年 2 月 頃

1. 組織の概要

【事業所名】 株式会社 レボテック・クリーン

【代表者氏名】 代表取締役 上田 晃大

【所在地】

本社 高知県高知市春野町西分1794番地2

倉庫・資材置場 高知県高知市春野町西分4410番地

【環境管理責任者氏名及び担当者連絡先】

環境管理責任者氏名 取締役 上田 由美
 連絡先担当者 上田 梨菜
 連絡先 TEL: 088-894-6840
 FAX: 088-894-6841
 E-mail: shikoku-kochi@rebokuri.co.jp

【事業活動の内容についての簡単な記述】

建設業（主に解体工事等の工事を行っています。）

建設業許可 高知県知事 特定建設業許可

許可番号 許可（特-2）第 9527号

許可年月日 令和2年5月19日から令和7年5月18日

建設業の種類 土木工事業、とび・土工工事業、鋼構造物工事業、舗装工事業、水道施設工事業、解体工事業

建設業許可 高知県知事 特定建設業許可

許可番号 許可（特-4）第 9527号

許可年月日 令和4年7月26日から令和9年7月25日

建設業の種類 石工事業、しゅんせつ工事業、塗装工事業

建設業許可 高知県知事 一般建設業許可

許可番号 許可（般-4）第 9527号

許可年月日 令和4年9月30日から令和9年9月29日

建設業の種類 内装仕上工事業

【産業廃棄物収集運搬業許可】

○許可の内容 ・収集運搬業許可番号 3900171734
 ・許可年月日 令和5年4月25日
 ・許可の有効期限 令和10年4月24日
 ・事業区分：収集運搬
 ・収集運搬する廃棄物の種類 燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類（*1、*2を含む）紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず（*2を含む。）、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず（*1、*2を含む）、がれき類（*1を含む。）

【産業廃棄物収集運搬業許可】 特別管理産業廃棄物収集運搬（高知県）

○許可の内容 ・収集運搬業許可番号 03950171734
 ・許可年月日 令和3年7月1日
 ・許可の有効期限 令和7年5月20日
 ・事業区分：収集運搬
 ・収集運搬する廃棄物の種類 ポリ塩化ビフェニル汚染物（低濃度ポリ塩化ビフェニル廃棄物に限る） 廃石棉

【産業廃棄物収集運搬業許可】 特別管理産業廃棄物収集運搬（香川県）

○許可の内容 ・収集運搬業許可番号 03758171734
 ・許可年月日 令和3年7月13日
 ・許可の有効期限 令和8年7月12日
 ・事業区分：収集運搬
 ・収集運搬する廃棄物の種類 ポリ塩化ビフェニル汚染物（低濃度ポリ塩化ビフェニル廃棄物に限る）

○処理実績 ・収集運搬量 1862.08 （内訳： コンクリートがら 1158.52 t / 木くず 154.28 t 他 ）

○施設等の状況 ・運搬車両の種類と台（21台） ※1tトラック（1台）、2tトラック（1台）、2tダンプ（4台）、3tダンプ（1台）4tダンプ（3台）、7tダンプ（2台）、ユニック（1台）、8tダンプ（2台）、10tダンプ（1台）WJ車、吸引車（2台）、軽トラ（2台）、軽トラダンプ（1台）、※セミトレー（2台）

【事業規模】

設立年月日 平成19年5月28日 設立

資本金 2,000万円

	H 30 年度	R 1 年度	R 2 年度	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度
売上高 (百万円)	345	371	455	576	891	1,029
従業員数 (名)	27	25	23	25	28	32
事業所床面積 (m ²)	63	63	63	63	63	63
敷地面積 (m ²)	807	807	807	807	807	807

会計年度 5 月 ~ 4 月

2. 対象範囲、レポートの対象期間及び発行日

【対象範囲（認証・登録範囲）】

株式会社 レボテック・クリーン

本社 高知県高知市春野町西分1794番地2

（常駐者：5 名）

倉庫・資材置場

高知県高知市春野町西分4460番地

☆対象事業： 建設業（解体工事業、土木工事業）、産業廃棄物収集運搬業

【レポートの対象期間】

令和5年5月～令和6年4月

【環境経営レポートの発行日】

2025年2月20日

【作成責任者】

環境管理責任者

上田 由美



対象となる持続可能な開発目標（SDGs）範囲

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



NO.	項目	当社対象有無	備考
1	貧困をなくそう		オーガニック
2	飢餓をゼロに		オーガニック、フェアトレード
3	すべての人に健康と福祉を		高齢者雇用
4	質の高い教育をみんなに		環境教育の実施
5	ジェンダー平等を実現しよう		障害者雇用
6	安全な水とトイレを世界中に		水道使用、節水、雨水利用
7	エネルギーをみんなにそしてクリーンに		再生可能エネルギー使用
8	働きがいも経済成長も	○	高齢者雇用、障害者雇用
9	産業と技術革新の基礎をつくろう		低燃費、長寿命化、環境負荷低減
10	人や国の不平等をなくそう		高齢者雇用、障害者雇用
11	住み続けられるまちづくりを	○	CO2削減、エコドライブ
12	つくる責任つかう責任	○	コピー用紙削減、環境配慮工事
13	気候変動に具体的な対策を	○	CO2削減、省エネ、環境配慮工事
14	海の豊かさを守ろう		下水道、排水処理の場合
15	陸の豊かさも守ろう		緑化、植林、社有林の保全
16	平和と公正をすべての人に		寄付、環境教育
17	パートナーシップで目標を達成しよう		寄付、環境教育

(取得資格・免許)

・解体施行技士	4名
・一級土木施工管理技士	7名
・一級建築施工管理技士	2名
・特定化学物質及び四アルキル鉛等作業主任者	3名
・石綿取扱い作業主任者	9名
・建築物石綿含有建材調査者(特定)	1名
・建築物石綿含有建材調査者(一般)	4名
・特別管理産業廃棄物管理責任者	1名
・監理技術者	8名

※運搬車両車種



・アームロール	2台	・4tユニック	1台
・4tダンプ	3台	・軽トラダンプ・軽トラ	3台
・3tダンプ	1台	・WJ	2台
・2tダンプ	4台	・強力吸引車	2台
・2tトラック	1台		
・1tトラック	1台	・8tダンプ	2台
・現場車両車等	18台	・10tダンプ	1台

※建設機械重機



・0.04m ³ バックホウ (3台)	・0.8m ³ バックホウ ロングブーム (1台) SK235SRD-7
・0.10m ³ バックホウ (1台)	・0.8m ³ バックホウ セパレートブーム (1台) SK235SRD-7
・0.14m ³ バックホウ (3台)	・1.6m ³ バックホウ セパレートブーム (1台) ZX550DLC-9
・0.45m ³ バックホウ (2台)	・1.6m ³ バックホウ セパレートブーム (1台) ZX500LCK-6
・0.80m ³ バックホウ (1台)	・1.6m ³ バックホウ セパレートブーム (1台) SK550DLC-9
	・1.6m ³ バックホウ セパレートブーム (1台) SK500LCK-6
	・3.6m ² バックホウ セパレートブーム (2台) SK1000DLC-9
	・3.6m ² バックホウ ロングブーム (1台) SK1000DLC-9
	・6.0M ³ バックホウ ロングブーム (1台) zx1800k-3
・超高压水発生装置245Mpa (2台)	・PDS175 コンプレッサー他
・3tフォークリフト	・アスベスト専用集塵機 (ULPAフィルター)
・締固め機	・超高压洗浄機(49.0Mpa)
・PH自動制御システム・ウォータージェットポンプ (高知県初導入機械)	・ハンド圧砕機 最高開口幅80~350mm(3台)

3. 環境経営方針

【環境経営理念】

株式会社レボテック・クリーンは、解体工事業をはじめ建設工事における環境負荷の低減が、地域環境の保全に繋がることを認識し、自然環境の保全・調和・共生に積極的に取り組み、継続的改善による環境経営を推進することにより地域の豊かな自然を次世代に引き継げる企業を目指します。

【基本方針】

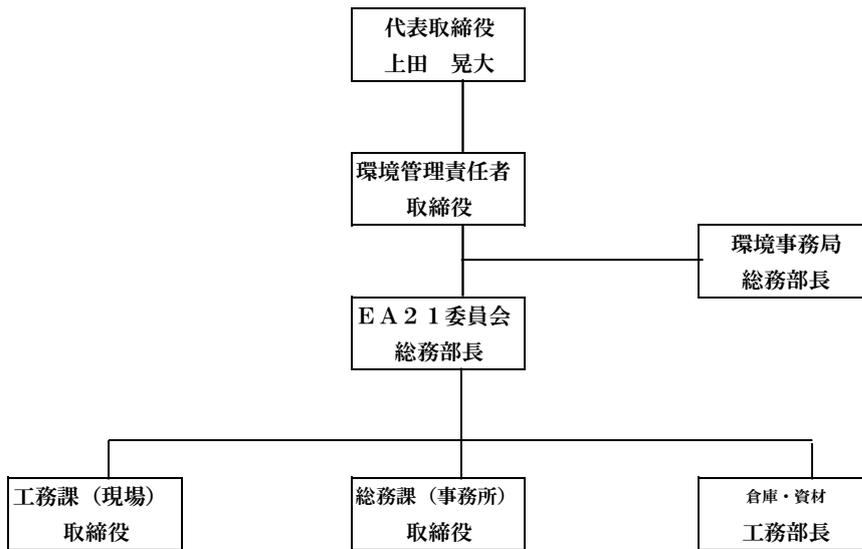
事業活動に伴う環境への負荷を削減するために、以下の取組みを行います。

1. 環境関連法規等を遵守します。
2. 環境配慮した工事、環境負荷の少ない工事を実施します。また、環境に優しい資材の使用を促進します。
3. 解体工事における粉じん及び騒音、振動の低減を図ります。
4. 化石燃料使用量及び電力使用量の削減による二酸化炭素排出量を削減します。
5. 建設現場及び事務所における3R（Reduce、Reuse、Recycle）活動を推進し、産業廃棄物及び一般廃棄物排出量の削減に努めます。
6. 水使用量を削減します。
7. 建設資材及び事務用品のグリーン購入を促進します。
8. 環境経営レポートを公表します。
9. 地域の環境保全活動に積極的に取組み、社会貢献出来るように努めます。

2025年1月31日

株式会社 レボテック・クリーン
代表取締役 上田 晃大

4. 環境管理組織体制



環境経営システム 役割・責任・権限表

	役割・責任・権限
代表者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任 環境経営システム実施に必要な人、設備、費用、時間、技能・技術者を準備 環境管理責任者を任命 経営における課題とチャンスの明確化 環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 環境経営目標、環境経営計画・環境管理組織体制を承認 代表者による全体評価と見直し実施 環境経営レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築、実施、管理 環境関連法規等の取りまとめ表を承認 環境経営目標、環境経営計画・環境管理組織体制を確認 環境活動の取組結果を代表者へ報告 環境経営レポートの確認
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者の補佐、E A 2 1 委員会の事務局 環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 環境経営目標、環境経営計画・環境管理組織体制原案の作成 環境活動の実績集計 環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 環境経営レポートの作成、公開
部門長	<ul style="list-style-type: none"> 自部門における環境経営方針の周知、従業員への環境教育訓練実施 自部門に関する環境経営計画の実施、達成状況報告 自部門に関する緊急事態訓練の実施 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 決められた事を守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

5. 環境経営活動への取組の全体概要

当社は、「2017年版エコアクション21ガイドライン」をもとに、環境負荷の自己チェックを行い環境目標の達成状況を評価し、改善に取り組んでいます。

<全体概況>

- 燃料使用量、電力使用量については、環境目標に対して大幅な改善が見られました。
- 環境美化活動についても、本年度は、ロードボランティア活動（10回）、近隣の清掃活動（8回）実施しております。



2023年度目標

6. 環境経営目標

(1) 単年度目標

項目	総量・原単位	単位	基準年 2022年度 2022.5-2023.4	2023年度 目標 2023.5-2024.4
売上高		百万円	891	892
燃料使用量				
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	25,664.6	25,600
	原単位	(ℓ/百万円)	28.8	28.7
軽油使用量	総量	(ℓ)	88,865	88,000
	原単位	(ℓ/百万円)	99.7	98.7
電力使用量	総量	(kWh)	16,917	16,000
	原単位	(kWh/百万円)	19.0	17.9
CO ₂ 排出量	総量	(kg-CO ₂)	297,747	297,000
	原単位	(kg-CO ₂ /百万円)	334.2	333.0
用水使用量	総量	(m ³)	652	600
	原単位	(m ³ /百万円)	0.7	0.7
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	950	900
	原単位	(kg/百万円)	1.1	1.0
産業廃棄物排出量	総量	(t)	4,308.7	4,200
	原単位	(t/百万円)	4.8	4.7
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	94.7	93.0
グリーン購入	総量	(%)	89	90
環境負荷の少ない工事	総量	(%)	100%(208/208)	100
環境美化活動	総量	(回)	8	9

* 1. 電力のCO₂発生量については、電気事業者別のCO₂排出係数 令和2年1月7日公表の

四国電力の調整排出係数0.528 (kg-CO₂ / kWh) を使用した。

* 2. グリーン購入量は、事務用品金額全体に対する環境商品の購入金額割合 (%)

* 3. 環境負荷の少ない工事

○環境負荷の少ない材料（リサイクル材、県産品等）の使用

○低騒音、排出ガス対策型重機の使用

○型枠、工事看板への間伐材の使用

○粉塵対策（散水・防塵シート取付）の実施

(2) 中長期目標

項目	総量・原単位	単位	2023年度 実績（基準年）	2025年度 目標	2026年度 目標	2027年度 目標
売上高		百万円	1,029	1,030	1,031	1,031
燃料使用量						
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	25,402	25,000	25,000	25,000
	原単位	(ℓ/百万円)	25	24.3	24.2	24.2
軽油使用量	総量	(ℓ)	158,048	157,000	156,500	156,500
	原単位	(ℓ/百万円)	154	152.4	151.8	151.8
電力使用量	総量	(kWh)	10,014	10,000	10,000	10,000
	原単位	(kWh/百万円)	10	9.7	9.7	9.7
CO ₂ 排出量	総量	(kg-CO ₂)	471,983	468,340	466,586	466,586
	原単位	(kg-CO ₂ /百万円)	459	454.7	452.6	452.6
用水使用量	総量	(m ³)	井水の為軽量無			
	原単位	(m ³ /百万円)				
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	835	830	825	820
	原単位	(kg/百万円)	1	0.8	0.8	0.8
産業廃棄物排出量	総量	(t)	6,766	6,700	6,690	6,680
	原単位	(t/百万円)	7	6.5	6.5	6.5
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	80	79.8	79.8	79.8
グリーン購入	総量	(%)	90	92	92	92
環境負荷の少ない工事	総量	(%)	100%(166/166)	100	100	100
環境美化活動	総量	(回)	11	12	12	12

7. 環境経営計画

期間： 2023 年 5 月 ～ 2024 年 4 月

項目		活動内容	担当者	期間
CO2 排出量 削減	電気使用量 削減	○エアコンの温度設定冷房28℃、暖房20℃	総務部長	2023/5～2024/4
		○使用していない部屋及び昼休み、不要時消灯	総務部長	2023/5～2024/4
		○待機時省力電力の節電	総務部長	2023/5～2024/4
		○こまめに電気を消す	総務部長	2023/5～2024/4
	燃料使用量 削減	○重機・車輛の作業前点検及び作業後の整備を行う（グリスアップ・オイルの点検等）	取締役	2023/5～2024/4
		○現場への人員・資機材の運搬を効率化	取締役	2023/5～2024/4
		○排出ガス対策車の使用	取締役	2023/5～2024/4
		○車内でのエアコンの使用を出来るだけ控える	取締役	2023/5～2024/4
		○アイドリングストップ	取締役	2023/5～2024/4
	水使用量削減		○具体的な節水の仕方を表示して節水励行	工務部長
廃棄物排出量 削減	一般廃棄物	○書類確認を十分に行い、ミスプリントを減らす	取締役	2023/5～2024/4
		○両面印刷・両面コピー・裏紙の利用を行う	取締役	2023/5～2024/4
		○ゴミの分別によりリサイクルを促進	取締役	2023/5～2024/4
	産業廃棄物	○現場内に分別箱を設置し、リユース・リサイクル出来るものとゴミの分別を行う。	工務部長	2023/5～2024/4
		○産廃処理契約を必ず交わしたマニフェストによる管理を徹底する。	工務部長	2023/5～2024/4
		○資材の保管・管理を訂正に行い無駄使用はしない	工務部長	2023/5～2024/4
グリーン購入		○グリーン商品購入の促進	取締役	2023/5～2024/4
		○低燃費車・仮排出ガス認定車への切替	上田 晃大	2023/5～2024/4
		○再生タイヤの購入	上田 晃大	2023/5～2024/4
環境負荷の少ない工事		○建設機械の自主点検整備の実施	取締役	2023/5～2024/4
		○環境パトロール点検を実施する。	取締役	2023/5～2024/4
		○各現場の環境に応じた環境配慮の工夫をおこなう（粉塵対策・騒音・振動対策等）	取締役	2023/5～2024/4
社会貢献活動		○ボランティア海岸清掃（仁ノ海岸）	上田 晃大	2023/5～2024/4
		○環境団体の支援	上田 晃大	2023/5～2024/4

8 環境経営目標の実績

(1) 本年度実績

項目	総量・原単位	単位	基準年 2022年度 2023..5-2024.4	2023年度 目標 2024..5-2025.4	2023年度 実績 2023..5-2024.4	実績値／目標値 (%)	評価
売上高		百万円	891	892	1,029	115.4	○
燃料使用量							
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	25664.6	25,600	25,402	99.2	○
	原単位	(ℓ/百万円)	28.8	28.7	24.7	86.0	○
軽油使用量	総量	(ℓ)	88,865	88,000	158,048	179.6	×
	原単位	(ℓ/百万円)	0.1	98.7	153.6	155.7	×
電力使用量	総量	(kWh)	16,917	16,000	10,014	62.6	○
	原単位	(kWh/百万円)	19.0	17.9	9.7	54.3	○
CO ₂ 排出量	総量	(kg-CO ₂)	297,747	297,000	471,983	158.9	×
	原単位	(kg-CO ₂ /百万円)	334.2	333.0	458.7	137.8	×
用水使用量	総量	(m ³)		600			
	原単位	(m ³ /百万円)	井水の為計量無	0.7		井水の為計量無	
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	950	900	835	92.8	○
	原単位	(kg/百万円)	1.1	1.0	0.8	80.4	○
産業廃棄物排出量	総量	(t)	4,308.7	4,200	6766.38	161.1	×
	原単位	(t/百万円)	4.8	4.7	6.6	139.7	×
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	94.7	93.0	79.7	85.7	×
グリーン購入量	総量	(%)	89	90	90	100.0	○
環境負荷の少ない工事	総量	(%)	100%(208/208)	100	100%(166/166)	100.0	○
環境美化活動	総量	(回)	8	9	11	122.2	○

* 1. 電力のCO₂発生量については、電気事業者別のCO₂排出係数 令和2年1月7日公表の
四国電力の調整後排出係数0.528 (kg-CO₂ / kWh) を使用した。

* 2. グリーン購入量は、事務用品金額全体に対する環境商品の購入金額割合 (%)

* 3. 環境負荷の少ない工事

- 環境負荷の少ない材料（リサイクル材、県産品等）の使用
- 低騒音、排出ガス対策型重機の使用
- 型枠、工事看板への間伐材の使用
- 粉塵対策（散水・防塵シート取付）の実施

<環境経営目標未達成等理由>

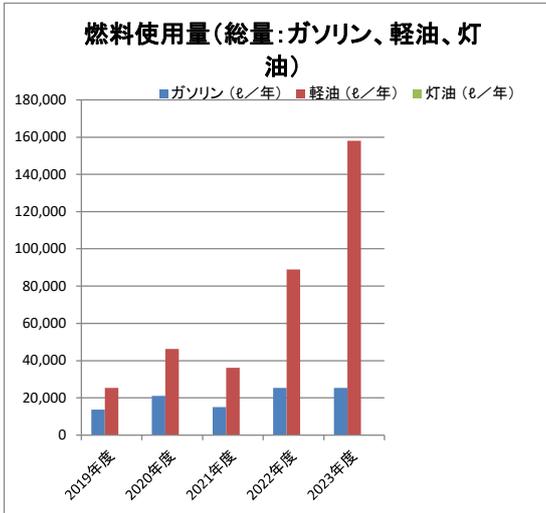
- ・ 産業廃棄物が増加した理由 : 件数は少なかったが大型の解体工事が有った為に産廃が多くなった
解体工事が多かったため、再資源化率も低下した。
- ・ 軽油が増加した理由 : 工事の件数と、大型重機等が稼働したため

<過去の実績>

項目	総量・原単位	単位	2019年度 実績	2020年度 実績	2021年度 実績	2022年度 実績	2023年度 実績	
売上高		百万円	371	455	576	891	1,029	
燃料使用量								
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	13,657	21,146	15,192	25,664.6	25402	
	原単位	(ℓ/百万円)	36.8	46.5	26.4	28.8	24.7	
軽油使用量	総量	(ℓ)	25,369	46,183	36,157	88,865	158047.82	
	原単位	(ℓ/百万円)	68.4	101.5	62.8	99.7	153.6	
電力使用量	総量	(kWh)	6,123	5,935	7,769	16,917	10,014	
	原単位	(kWh/百万円)	16.5	13.0	13.5	19.0	9.7	
CO ₂ 排出量	総量	(kg-CO ₂)	101,275	172,222	132,634	297,747	471,983	
	原単位	(kg-CO ₂ /百万円)	273.0	378.5	230.3	334.2	458.7	
用水使用量	総量	(m ³)	/井水の為計測無				652.0	
	原単位	(m ³ /百万円)						
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	690	610	1,130	950	835	
	原単位	(kg/百万円)	2	1.3	2.0	1.1	0.8	
産業廃棄物排出量	総量	(t)	1,935	1,261	1,919	4,308.66	6766.38	
	原単位	(t/百万円)	5	2.8	3.3	4.8	6.6	
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	90	86	97.2	94.7	79.7	
グリーン購入	総量	(%)	92	95	89	89	90	
環境負荷の少ない工事	総量	(%)	100%(200/200)	100%(227/227)	100%(157/157)	100%(208/208)	100%(166/166)	
環境美化活動	総量	(回)	7	8	8	8	11	

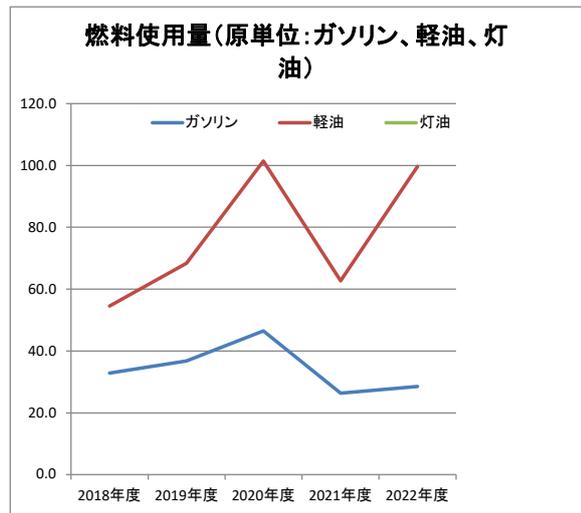
燃料使用量（総量：ガソリン、軽油、灯油）
単位：ℓ／年

年度	ガソリン (ℓ／年)	軽油 (ℓ／年)	灯油 (ℓ／年)
2018年度	11,366	18,801	
2019年度	13,657	25,369	
2020年度	21,146	46,183	
2021年度	15,192	36,157	
2022年度	25,365	88,866	
2023年度	25,402	158,048	



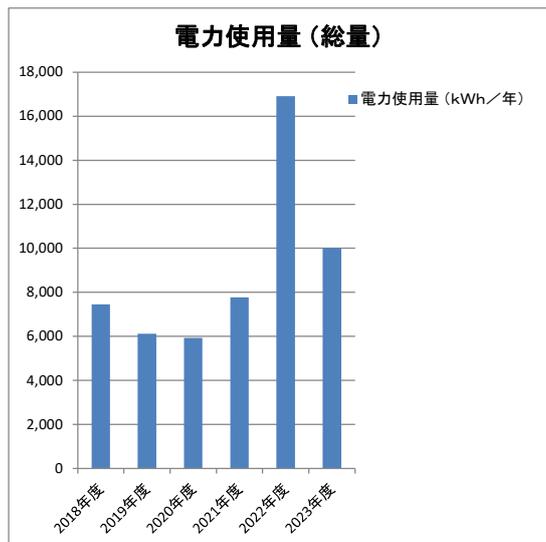
燃料使用量（原単位：ガソリン、軽油、灯油）
単位：ℓ／百万円

年度	ガソリン	軽油	灯油
2018年度	32.9	54.5	
2019年度	36.8	68.4	
2020年度	46.5	101.5	
2021年度	26.3	62.7	
2022年度	28.5	99.7	
2023年度	24.7	153.6	



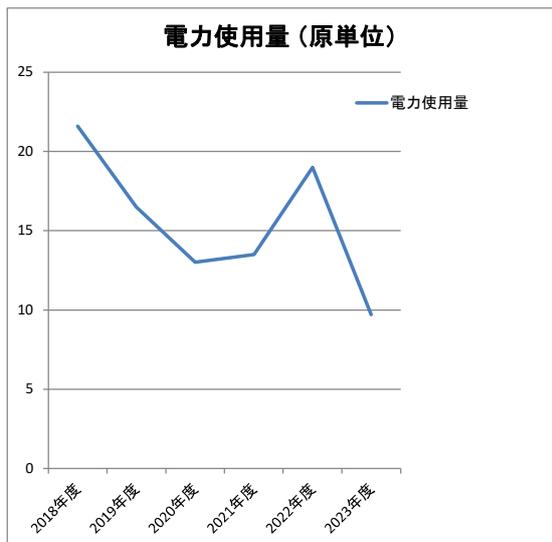
電力使用量（総量：kWh／年）

年度	電力使用量 (kWh／年)
2018年度	7,450
2019年度	6,123
2020年度	5,935
2021年度	7,769
2022年度	16,917
2023年度	10,014



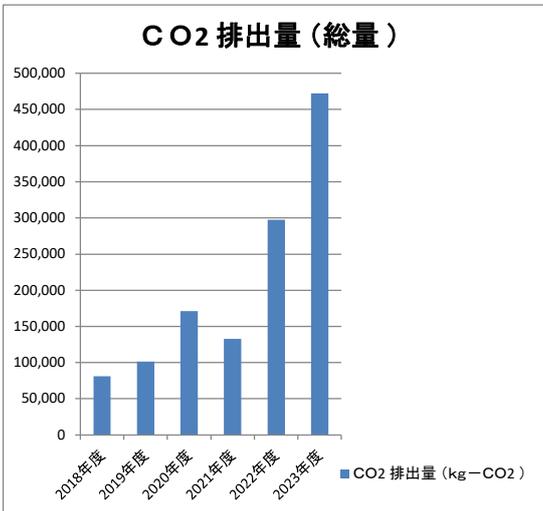
電力使用量（原単位：kWh／百万円）

年度	電力使用量
2018年度	21.6
2019年度	16.5
2020年度	13
2021年度	13.5
2022年度	19.0
2023年度	9.7



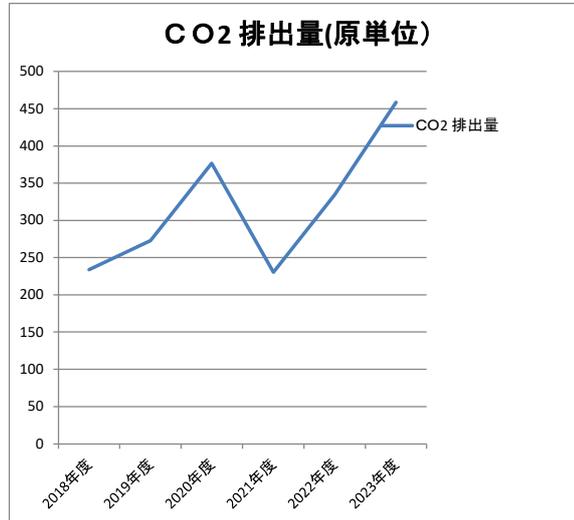
CO₂ 排出量 (総量 : (kg-CO₂))

年度	CO ₂ 排出量 (kg-CO ₂)
2018年度	80,764
2019年度	101,275
2020年度	171,344
2021年度	132,634
2022年度	297,474
2023年度	471,983



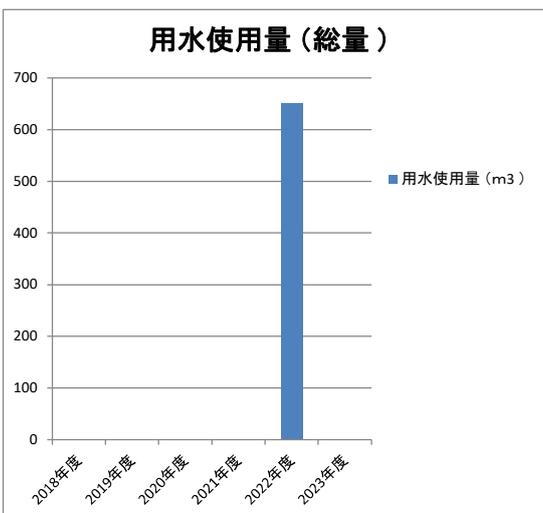
CO₂ 排出量 (原単位 : kg-CO₂/百万円)

年度	CO ₂ 排出量
2018年度	234.1
2019年度	273
2020年度	376.6
2021年度	230.3
2022年度	334.2
2023年度	458.7



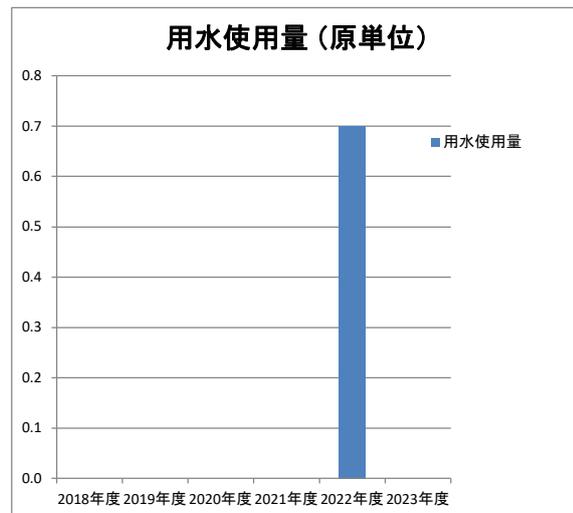
用水使用量 (総量 : m³)

年度	用水使用量 (m ³)
2018年度	
2019年度	
2020年度	
2021年度	
2022年度	652
2023年度	



用水使用量 (原単位 : m³/百万円)

年度	用水使用量
2018年度	
2019年度	
2020年度	
2021年度	
2022年度	0.7
2023年度	



廃棄物排出量(総量:一般廃棄物、産業廃棄物)

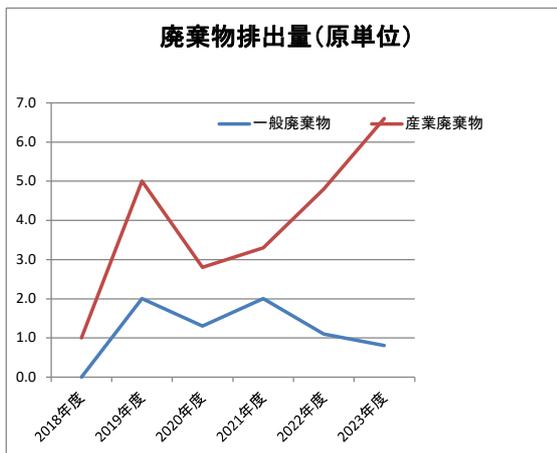
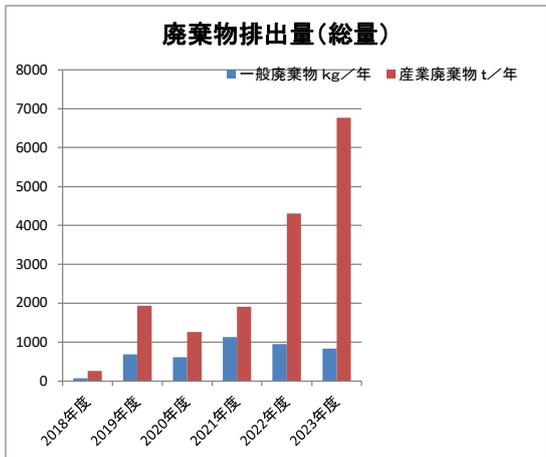
単位:一般廃棄物 kg/年
単位:産業廃棄物 t/年

年度	一般廃棄物 kg/年	産業廃棄物 t/年
2018年度	70	260
2019年度	690	1,935
2020年度	610	1,261
2021年度	1130	1910
2022年度	950	4309
2023年度	835	6766.4

廃棄物排出量(原単位:一般廃棄物、産業廃棄物)

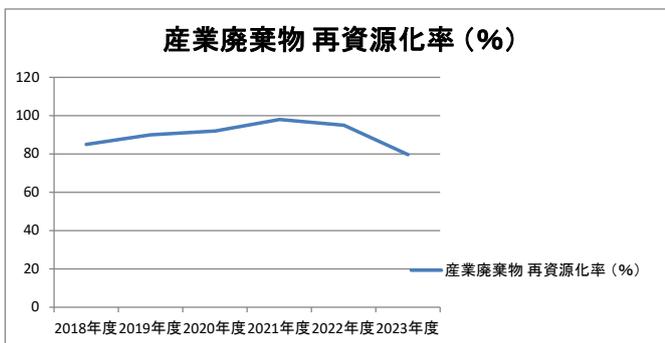
単位:一般廃棄物 kg/百万円
単位:産業廃棄物 t/百万円

年度	一般廃棄物	産業廃棄物
2018年度	0.0	1.0
2019年度	2	5.0
2020年度	1.3	2.8
2021年度	2	3.3
2022年度	1.1	4.8
2023年度	0.8	6.6



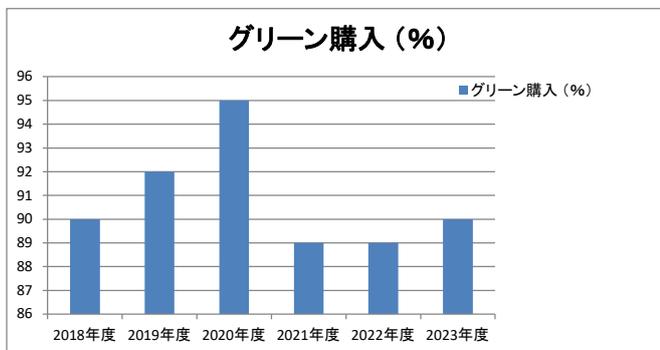
産業廃棄物再資源化率 (%)

年度	産業廃棄物 再資源化率 (%)
2018年度	85
2019年度	90
2020年度	92
2021年度	98
2022年度	95
2023年度	79.7



グリーン購入 (%)

年度	グリーン購入 (%)
2018年度	90
2019年度	92
2020年度	95
2021年度	89
2022年度	89
2023年度	90



9. 環境経営計画の取組結果とその評価

期間： 令和 5 年 5 月 ～ 令和 6 年 4 月

項目		活動内容	取組結果	評価	見直し	
CO2 排出量 削減	電気使用量 削減	○エアコンの温度設定冷房28℃、暖房20℃	良く出来ている	○	出来ていたので継続する事務所内だけでなく、現場でも同じような取組みを行います。	
		○使用していない部屋及び昼休み、不要時消灯	良く出来ている	○		
		○待機時省力電力の節電	良く出来ている	○		
		○こまめに電気を消す	良く出来ている	○		
	燃料使用量 削減	○重機・車輛の作業前点検及び作業後の整備を行う（グリスアップ・オイルの点検等）	点検簿により、日々の点検は抜かりなく出来た	○		工事高や工事内容により、化石燃料使用量削減・CO2排出量削減の数値に反映されにくい場合もあるが、日々の活動は継続していく。アイドリングストップも心がけていく。
		○現場への人員・資機材の運搬を効率化	良く出来ている	○		
		○排出ガス対策車の使用	良く出来ている	○		
		○車内でのエアコンの使用を出来るだけ控える	良く出来ている	○		
水使用量削減	○具体的な節水の仕方を表示して節水励行	良く出来ている	○	出張組や現場解体散水時の節水の強化		
	○具体的節水の表示	良く出来ている	○			
廃棄物排出量 削減	一般廃棄物	○書類確認を十分に行い、ミスプリントを減らす	良く出来ている	○	事務所でのごみについて削減出来ないか工夫していく	
		○両面印刷・両面コピー・裏紙の利用を行う	良く出来ている	○		
		○ゴミの分別によりリサイクルを促進	良く出来ている	○		
	産業廃棄物	○現場内に分別箱を設置し、リユース・リサイクル出来るものとゴミの分別を行う。	廃棄物削減と共に環境にも配慮した。	○	再資源化100%を目指しマニフェストと共に廃棄物の適切な処理を行う	
		○産廃処理契約を必ず交わしたマニフェストによる管理を徹底する。	手順書に従い、管理が良く出来ていた	○		
		○資材の保管・管理を訂正に行い無駄使用はしない	倉庫の整理整頓を怠らないよう気を付け、資材を大事に扱うことにした	○		
グリーン購入	○グリーン商品購入の促進	金額による評価では100%達成出来なかった	△	継続して実施していき、グリーン購入を徹底していく		
	○低燃費車・仮排出ガス認定車への切替	よく出来ている	○			
	○再生タイヤの購入	リース車を利用した	○			
環境負荷の少ない工事	○建設機械の自主点検整備の実施	良く出来ている	○	各工事で環境に配慮した工事を行っていく		
	○環境パトロール点検を実施する。 ○各現場の環境に応じた環境配慮の工夫をおこなう（粉塵対策・騒音・振動対策等）	情報共有システム利用を積極的に採用した。低騒音、低振動、排ガス重機を積極的に検討した。	○			
社会貢献活動	○ボランティア海岸清掃（仁ノ海岸）	地域の環境活動は定着している	○	ロードボランティア活動を可能な限り実施し各現場で清掃活動を行う		
	○環境団体の支援					

10. 次年度の取組内容

(1) 環境経営目標

2024年度目標

(1) 単年度目標

項目	総量・原単位	単位	基準年 2023年 2023.5-2024.4	2024年度 目標 2024.5-2025.4
売上高		百万円	1,029	1,030
燃料使用量				
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	25,402	25,000
	原単位	(ℓ/百万円)	25	24.3
軽油使用量	総量	(ℓ)	158,048	157,000
	原単位	(ℓ/百万円)	154	152.4
電力使用量	総量	(kWh)	10,014	10,000
	原単位	(kWh/百万円)	10	9.7
CO ₂ 排出量	総量	(kg-CO ₂)	471,983	468,340
	原単位	(kg-CO ₂ /百万円)	459	454.7
用水使用量	総量	(m ³)	井水の為計量無	
	原単位	(m ³ /百万円)		
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	835	830
	原単位	(kg/百万円)	1	0.8
産業廃棄物排出量	総量	(t)	6,766	6,700
	原単位	(t/百万円)	7	6.5
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	80	79.8
グリーン購入	総量	(%)	90	91
環境負荷の少ない工事	総量	(%)	100%(166/166)	100
環境美化活動	総量	(回)	11	12

* 1. 電力のCO₂発生量については、電気事業者別のCO₂排出係数 令和2年1月7日公表の
四国電力の調整後排出係数0.528 (kg-CO₂ / kWh) を使用した。

* 2. グリーン購入量は、事務用品金額全体に対する環境商品の購入金額割合 (%)

* 3. 環境負荷の少ない工事

○環境負荷の少ない材料（リサイクル材、県産品等）の使用

○低騒音、排出ガス対策型重機の使用

○型枠、工事看板への間伐材の使用

○粉塵対策（散水・防水シートの取付）の実施

(2) 中長期目標

項目	総量・原単位	単位	2023年度 基準年	2025年度 目標	2026年度 目標	2027年度 目標
売上高		百万円	1,029	1,030	1,031	1,031
燃料使用量						
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	25,402	25,000	25,000	25,000
	原単位	(ℓ/百万円)	25	24.3	24.2	24.2
軽油使用量	総量	(ℓ)	158,048	157,000	156,500	156,500
	原単位	(ℓ/百万円)	154	152.4	151.8	151.8
電力使用量	総量	(kWh)	10,014	10,000	10,000	10,000
	原単位	(kWh/百万円)	10	9.7	9.7	9.7
CO ₂ 排出量	総量	(kg-CO ₂)	471,983	468,340	466,586	466,586
	原単位	(kg-CO ₂ /百万円)	459	454.7	450.0	452.6
用水使用量	総量	(m ³)	井水の為計量無			
	原単位	(m ³ /百万円)				
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	835	830	825	820
	原単位	(kg/百万円)	1	0.8	0.8	0.8
産業廃棄物排出量	総量	(t)	6,766	6,700	6,690	6,680
	原単位	(t/百万円)	7	6.5	6.5	6.5
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	80	79.8	79.8	79.8
グリーン購入	総量	(%)	90	92	92	92
環境負荷の少ない工事	総量	(%)	100%(166/166)	100	100	100
環境美化活動	総量	(回)	11	12	12	12

具体的な取組状況

(1) 燃料使用量削減



車の相乗りの徹底

現場へ行く時は、必ず相乗りで現地に行き、社用車の燃料使用量削減に努めています。

(2) 電力使用量削減



節電シール貼付

本社事務所内の各スイッチに節電シールを貼付け啓発を行っています。

※シングルカノンによるコンクリート研り（鉄筋を傷つけない工法）

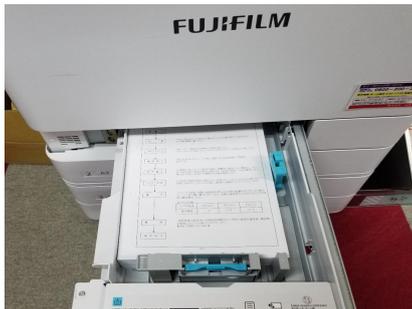
(3) 用水使用量の削減



節水シール貼付

本社事務所内の水道蛇口（1ヶ所）に節水シールを貼付け、啓発を計っています。

(4) 一般廃棄物の削減



コピー用紙の裏紙使用、両面コピー
ミスコピー用紙は、裏紙として使用し、また両面コピーを実施することにより、年間でコピー用紙の使用量の削減を行っています。



FAXはパソコン画面から送信
受信したFAXは、パソコン画面で確認し、必要な物だけを打ち出しています。これにより、コピー用紙削減に繋がっています。

(5) 環境美化活動



ロードボランティア活動
高知市のロードボランティア活動を行い道路の清掃活動を実施しています（年10～15回実施）

10. 次年度の取組内容
(2) 環境経営計画

期間：2024 年 5 月 ～ 2025 年 4 月

項目		活動内容	担当者	期間
CO2 排出量 削減	電気使用量 削減	○エアコンの温度、mnbvcx	総務部長	2024/5～2025/4
		○使用していない部屋及び昼休み、不要時消灯	総務部長	2024/5～2025/4
		○待機時省力電力の節電	総務部長	2024/5～2025/4
		○こまめに電気を消す	総務部長	2024/5～2025/4
	燃料使用量 削減	○重機・車輛の作業前点検及び作業後の整備を行う（グリスアップ・オイルの点検等）	取締役	2024/5～2025/4
		○現場への人員・資機材の運搬を効率化	取締役	2024/5～2025/4
		○排出ガス対策車の使用	取締役	2024/5～2025/4
		○車内でのエアコンの使用を出来るだけ控える	取締役	2024/5～2025/4
		○アイドリングストップ	取締役	2024/5～2025/4
水使用量削減		○具体的な節水の仕方を表示して節水励行	工務部長	2024/5～2025/4
廃棄物排出量 削減	一般廃棄物	○書類確認を十分に行い、ミスプリントを減らす	取締役	2024/5～2025/4
		○両面印刷・両面コピー・裏紙の利用を行う	取締役	2024/5～2025/4
		○ゴミの分別によりリサイクルを促進	取締役	2024/5～2025/4
	産業廃棄物	○現場内に分別箱を設置し、リユース・リサイクル出来るものとゴミの分別を行う。	工務部長	2024/5～2025/4
		○産業廃棄物はなるべく再資源化処理業者へ委託する。	工務部長	2024/5～2025/4
		○資材の保管・管理を訂正に行い無駄使用はしない	工務部長	2024/5～2025/4
グリーン購入		○グリーン商品購入の促進	取締役	2024/5～2025/4
		○低燃費車・仮排出ガス認定車への切替	上田 晃大	2024/5～2025/4
		○再生タイヤの購入	上田 晃大	2024/5～2025/4
環境負荷の少ない工事		○環境負荷の負荷の少ない材料（リサイクル材・県産品等）の	取締役	2024/5～2025/4
		○低騒音・排出ガス対策型重機の使用	取締役	2024/5～2025/4
		○型枠、工事看板への間伐材使用	取締役	2024/5～2025/4
		○粉塵対策（散水、防塵シート取付）の実施	取締役	2024/5～2025/4
社会貢献活動		○ボランティア海岸清掃（仁ノ海岸）	上田 晃大	2024/5～2025/4
		○環境団体の支援	上田 晃大	2024/5～2025/4

11. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

(1) 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

法規名	要求事項	適用条項	具体的内容	点検頻度 測定時期	担当者	遵守状況	確認日
産業廃棄物の処理及び清掃に関する法律	産業廃棄物の処理	法第3条第1項	事業者の責任による廃棄物の減量	産業廃棄物排出時	上田 晃大	遵守	2025年1月31日
		法第3条第2項	廃棄物の再利用による廃棄物の減量		上田 晃大	遵守	2025年1月31日
	収集運搬業	規則第7条の2	車両の掲示		取締役	遵守	2025年1月31日
			許可証の掲示		取締役	遵守	2025年1月31日
	多量排出事業者	法第12条の第9項	産業廃棄物排出量1000t以上の場合計画書を提出し翌年度に報告書を提出	該当年度の翌6月末	総務部長	遵守	2025年1月31日
	廃棄物処分の委託基準	施工令第6条の2第1.2号 施工令第6条の2第4号 施工令第6条の2第5号	適正な委託業者の選定	産業廃棄物排出時	上田 晃大	遵守	2025年1月31日
			処分業者との委託業務		上田 晃大	遵守	2025年1月31日
委託契約書の保存			上田 晃大		遵守	2025年1月31日	
PCF交付状況報告書の作成及び届	法第12条の3第7項	県知事・市長への報告書作成・提出	毎月6月末	総務部長	遵守	2025年1月31日	
騒音規制法	特定建設作業の届出	法第14条	作業開始7日前	工事受注時	取締役	遵守	2025年1月31日
振動規制法	特定建設業の届出	第14条	作業開始7日前				
グリーン購入法	事業者の責務	法第5条	環境物品の購入	購入時	上田 晃大	遵守	2025年1月31日
リサイクル法	指定副産物	第4条	土砂、コンクリートの塊、7mm以下、コンクリートの塊、建設発生木材のワカ	必要時	上田 晃大	遵守	2025年1月31日
建設リサイクル法	建設業を営む者の責務	法第5条第1項・第2項	廃棄物発生量の抑制・再資源化資材の利用	工事契約時	上田 晃大	遵守	2025年1月31日
	解体工事の届出に係る事項の説明	法第12条第1項	発注者に対する書面での説明		上田 晃大	遵守	2025年1月31日
	請負契約に係る書面の記載事項	法第13条第1項	請負契約当事者間の相互交付		上田 晃大	遵守	2025年1月31日
	発注者への報告	法第18条	再資源化完了の報告		上田 晃大	遵守	2025年1月31日
大気汚染防止法	解体工事の受注者	法第18条の7	発注者は特定工事に該当するか否を調査し発注者に書面で説明	工事説明時	上田 晃大	遵守	2025年1月31日
	解体等工事に係る調査及び説明等	法第18条の15	建築物等を解体し、改修し、又は補修する作業を伴う建設工事（以下「解体等工事」という。）の元請業者（発注者（解体等工事の注文者で、他の者から請け負った解体等工事の注文者以外のものをいう。以下同じ。）から直接解体等工事を請け負った者をいう。以下同じ。）は、当該解体等工事が特定工事に該当するか否かについて、設計図書その他の書面による調査、特定建築材料の有無の目視による調査その他の環境省令で定める方法による調査を行うとともに、環境省令で定めるところにより、当該解体等工事の発注者に対し、次に掲げる事項について、これらの事項を記載した書面を交付して説明しなければならない。	調査及び説明等	上田 晃大	遵守	2025年1月31日
	解体・改修工事に伴う「特定建築材料（石綿等）」の除去作業	施工令第3条の4	作業開始14日前までに元請業者が発注者に計画書を提出	必要時	上田 晃大	遵守	2025年1月31日
労働安全衛生法	作業計画・測定記録	第3条～第9条	作業開始14日前までに元請業者が発注者に計画書を提出	当該工事施工前	上田 晃大	遵守	2025年1月31日
石綿含有廃棄物の処理マニュアル	作業者の労働安全衛生管理	第2章計画	石綿障害予防規則に基づき、適切な措置を講じる	工事受注時	上田 晃大	遵守	2025年1月31日
建築物等に解体等の作業及び労働者が石綿等にばく露防止に関する技術上の指針	作業計画	労働安全衛生法第14条他	事前調査・石綿除去・隔離等の措置、集じん・排気装置の稼働状況確認、全室負圧の確認、呼吸用保護具等の選定、漏洩の監視、器具・保護具の扱い、石綿含有廃棄物取扱い等	工事着手時	上田 晃大	遵守	2025年1月31日
フロン排出抑制特定解体工事元請業者が特定解体工事受注に交付する事項を定める省令	解体工事の元請業者	法第42条	解体前にフロン類機器設置有無を確認・発注者に書面説明	工事着手時	上田 晃大	遵守	2025年1月31日
		法第43条	第一種フロン類充填回収業者から引取証明書の写しの交付を受けたときは、引取等実施者に交付するとともに3年間保存し、フロン類をみだりに放出した場合（法第86条違反）、1年以下の懲役または50万円以下の罰金に処せられる	随時	上田 晃大	遵守	2025年1月31日
		法第45条	第一種フロン類充填回収業者は、第一種特定製品廃棄等実施者から直接にフロン類を引き取ったときは、フロン類の引取りを証する書面（以下この条、次条及び第105条において「引取証明書」という。）に主務省令で定める事項を記載し、主務省令で定めるところにより、当該第一種特定製品廃棄等実施者に当該引取証明書を交付しなければならない。この場合において、当該第一種フロン類充填回収業者は、当該引取証明書の写しを当該交付をした日から主務省令で定める期間保存しなければならない。	回収後（引取証明書）	上田 晃大	遵守	2025年1月31日
		法第41条	第一種特定製品の廃棄等を行おうとする第一種特定製品の管理者（以下「第一種特定製品廃棄等実施者」という。）は、主務省令で定めるところにより、第一種フロン類充填回収業者が当該第一種特定製品にフロン類が充填されていないことを確認した場合を除き、自ら又は他の者に委託して、第一種フロン類充填回収業者に対し、当該第一種特定製品に冷媒として充填されているフロン類を引き渡さなければならない。	随時	上田 晃大	遵守	2025年1月31日
高知県環境基本条例		第6条	○事業者の責務 公害防止、自然環境保全、廃棄物の適正処理	必要時	上田 晃大	遵守	2025年1月31日
高知市環境基本条例		第5条	○事業者の責務 公害防止、自然環境保全、廃棄物の適正処理	必要時	上田 晃大	遵守	2025年1月31日

(2) 環境関連法規等の違反、訴訟等の有無

環境関連法規等への違反、訴訟及び外部からの苦情・要望等はありませんでした。

13. その他の取組

1. 自然保護団体への支援



支援団体	支援内容	支援年
環境の杜こうち	交通エコポイント活用社会還元事業	毎年
高知県木質資源エネルギー活用事業	カーボン・オフセット	現場であれば随時

ecoaction21

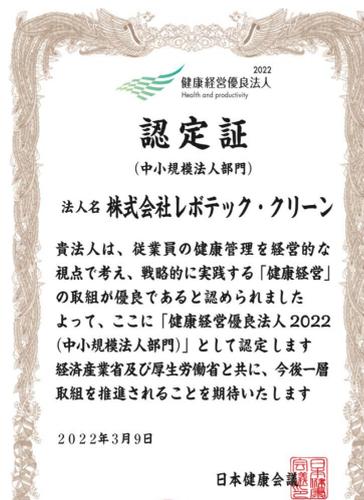


ベストプラクティス賞

カーボン・オフセット



SDGs



健康経営



香美市の発注の工事で西別館解体工事を受注しました。
施工は、近隣している民家や学習塾、通行車両や通行者などの子供の出入りや近隣住民の妨げにならないよう安全第一の交通管理に努めました。



解体施工も予定より早く完工し無事故で完了しました。



施工現場は高知市池公園にある人道橋改修工
事です。休日は公園を使用する一般者の立入
がないように措置する



完工した際には、通行者の方にも
喜んで頂きました★



外壁アスベスト撤去

レボクリーン

RevoClean

ウォータージェット工法

● 高圧水流で行うクリーンな工法 ● 粉塵・埃の飛散を大幅に低減
 ● 剥離した廃棄物は適切に処分 ● 汚水は濾過・中和して安心処理

アスベスト分析 / 試料分析3日にて速報納期



施工法	1日当たりの施工効率	凹部施工	周囲への飛散	評価
同時吸引式 レボクリーン ウォータージェット工法	60~140㎡ (ガン2丁使用時)	◎	◎	メリット水使用でクリーンかつ塗材も同時吸引・凹部施工可 デメリット設備コストが若干割高
ディスクグラインダー サンダー工法	10~15㎡ (1台、集塵機使用)	△	△	メリット施工が容易で増員により施工量を 増加可能 デメリット粉塵飛散の可能性、凹部施工不可
剥離剤(薬品)工法	25~35㎡ (1人作業)	△	○	メリット人数増員により施工量を増加可能 デメリット薬剤による周辺汚染の可能性、凹部 施工不可

① 超高压水流 → ② 除去(剥離・洗浄)作業

鉄骨、鉄骨、壁面剥離など幅広く、効率よく除去!

レボクリーン ウォータージェット工法

ウォータージェット工法は、高圧水流でアスベストを剥離・洗浄し、同時に吸引・排気を行うことで、周囲への飛散を大幅に低減し、作業環境を大幅に改善します。また、剥離したアスベストは適切に処分され、汚水は濾過・中和して安心処理が可能です。

レボクリーン ウォータージェット工法のメリット

- ① 水のみを使用する為、環境を汚染しません。
- ② 同時に汚水、剥離物を強力に吸引するので、飛散防止しながら施工が出来ます。
- ③ 選別工法のため、粉塵を抑制します。
- ④ 超高压水流を使用する為、従来の剥離剤工法、グラインダー工法と比較して少なく、精度の高い施工を行う事が出来ます。
- ⑤ 軟質、弾性、硬質塗膜などの幅広い塗膜の除去が可能です。
- ⑥ 剥離材では除去出来ないコンクリート(モルタル等)の硬質な無機質下地剥離材の除去が可能で施工可能です。
- ⑦ 何層も積層してある厚膜塗膜(塗膜)でも簡単に施工が可能です。
- ⑧ 設備は移動可能ですので、車両の入るところならどんな所でも施工可能です。(最長100m程度)
- ⑨ 使用した廃水は現場で濾過、PH6処理を行い、排水出来るためコスト削減に貢献します。
- ⑩ 吸引した除去時の排気は、空気清浄装置(3次キャッチャー・4次キャッチャー)で濾過を行ない大気へ開放するシステムの為安全です。
- ⑪ レベル3相当の養生が可能ですので隔離養生は不要です。※事前に所定打合せ確認が必要です。

人・環境への安全性、作業効率など、だんぜんウォータージェット!!

石炭酸系剥離剤使用や石炭酸系下地材の除去は、従来は剥離剤の使用や、壁面をディスクグラインダーで削る方法が用いられていました。剥離材の場合、剥離剤による作業中の粉塵、剥離材の除去時に発生する粉塵、剥離剤の揮発性有機化合物(VOC)等の有害な化学物質による健康被害のリスクがあります。またディスクグラインダー使用の場合、大量の粉塵が発生するため、こちらも作業中及び周辺への飛散汚染問題が起るレベル3相当の養生方法は無いと考えられます。

③ 吸引・排気

廃水(洗浄水)と剥離(剥離物)を同時吸引

吸引・排気装置は、吸引した廃水と剥離物を同時に吸引・排気し、周囲への飛散を大幅に低減します。

空気をきれい

吸引した除去時の排気は、空気清浄装置(3次キャッチャー・4次キャッチャー)で濾過・中和して処理します。

④ 一次濾過 → ⑤ 集材処理 → ⑥ 二次濾過 → ⑦ 排水

廃水と剥離物を適切に濾過・処理・処分

一次濾過で粗大の剥離物を除去し、二次濾過で細かい剥離物を除去し、排水を安心処理します。

外壁アスベスト除去に使用した水をきれい

コンクリート剥離に使用する高圧水流は、二次濾過で汚水処理を行い、レベル3相当の養生が可能になります。

役所・学校・工場の解体、耐震補強時の外壁剥がしなど臨機応変に対応できます!!



※弊社のアスベスト概要資料

※弊社のアスベスト概要資料

レボクリーン ウォータージェット工法 / 設備

<p>アクア・セルローター</p> <p>最高圧の水流を発生させるため、アスベストを確実に除去し、剥離作業を効率よく行えます。また、剥離したアスベストを同時に吸引・排気します。</p>	<p>バキューム集塵機 / ハイローターガン</p> <p>従来のハイローターガンよりも、コンクリート等の硬質下地に効率的に剥離させることが出来るため、バキューム集塵機とハイローターガンとの併用がおすすめです。</p>
<p>ウォータージェットポンプ</p> <p>高圧水流を発生させるためのポンプです。高圧水流を発生させることで、剥離作業を効率よく行えます。</p>	<p>自力吸引装置</p> <p>自力吸引装置は、吸引した廃水と剥離物を同時に吸引・排気し、周囲への飛散を大幅に低減します。</p>
<p>PH6中和システム</p> <p>PH6中和システムは、酸性の剥離水を中和し、排水を安心処理します。</p>	<p>吸引・排気システム</p> <p>吸引・排気システムは、吸引した廃水と剥離物を同時に吸引・排気し、周囲への飛散を大幅に低減します。</p>



産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年 6月 25日

高知市長 殿

提出者

住 所 高知県高知市春野町西分1794番地2

氏 名 株式会社レボテック・クリーン

代表取締役 上田 晃大

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 088-894-6840

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和5年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	高知県広域食肉センター解体工事(他多数)
事業場の所在地	高知市海老ノ丸13番58番
事業の種類	解体工事
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標

項目	目標値	項目	目標値
持出量	1455.0 t	全処理委託量	1455.0 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	1455.0 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

※事務処理欄



産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年 6月 25日

高知市長

殿

提出者

住 所 高知県高知市春野町西分1794番地2

氏 名 株式会社レボテック・クリーン

代表取締役 上田 晃大

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 088-894-6840

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和5年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	高知県広域食肉センター解体工事(他多数)		
事業場の所在地	高知市海老ノ丸13番58番		
事業の種類	解体工事		
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日		
産業廃棄物処理計画における目標			
項目	目標値	項目	目標値
排 出 量	1455.0 t	全 処 理 委 託 量	1455.0 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	1455.0 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投人処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t
※事務処理欄			

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和6年6月25日

高知県知事 殿



提出者

住 所 高知市春野町西分1794番地2

氏 名 株式会社 レボテック・グリーン

代表取締役 上田 晃大

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 088-894-6840

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	旧香南くろしお園解体工事 他多数
事業場の所在地	高知県香南市（高知市内を除く高知県内）
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	解体工事業
②事業の規模	完成工事高 10億8千万円（前年度実績）
③従業員数	36人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年 6月 25日

高知県知事 殿



提出者

住 所 高知県高知市春野町西分1794番地2

氏 名 株式会社 レボテック・クリーン

代表取締役 上田 晃大

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 088-894-6840

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和5年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	旧香南くろしお園解体工事（他多数）
事業場の所在地	高知県香南市（高知市内を除く高知県内）
事業の種類	解体工事業他
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年 4月 1日 ～ 令和6年 3月 31日

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排 出 量	1761.9 t	全 処 理 委 託 量	1761.9 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	1761.9 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

※事務処理欄